

大規模試合時における感染防止対策報告

令和3年5月27日

イベント主催者：浦和レッズ

指定管理者：埼玉スタジアム2002公園マネジメントネットワーク

1. 試合概要

日時：令和3年5月19日（水） 19：03キックオフ 20：54試合終了

試合名：2021YBCルヴァンカップ グループステージ 第6節

浦和レッズ vs 横浜FC

来場者数：4,252人

2. 感染防止対策

「Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」（以下、「Jリーグガイドライン」）等に基づき、主に以下の対策を実施しました。

<主な対策（ファン・サポーター向け）>

- ✓ スタジアム内でのマスク着用の徹底（クラブHP、試合時の大型映像装置を通じて告知を強化）
- ✓ スタジアム内外での、社会的距離（できるだけ2m、最低1m）の確保のお願い
- ✓ スタジアム内外での大声での発声、歌唱や声援、密集等の感染リスクのある行動の回避のお願い
- ✓ 時差入場・時差退場の実施
- ✓ 入場時、検温の実施（体温37.5度以上の場合は入場不可）
- ✓ 通行規制の実施（入場門の指定）、観戦時の座席移動の禁止
- ✓ トイレ、売店の待機列における社会的距離確保のための目印（シール等）の設置。列整理と案内の強化
- ✓ コンコース内で、「マスク着用のお願い」、「飲食用テーブルでの長時間の滞在自粛のお願い」をポスターにて告知
- ✓ 混雑緩和のための飲食売店の設置（場内売店は12店舗に拡大、うち、南・北門内に4店舗）
また、一部の飲食売店で、モバイルオーダーを試験的に実施。事前決済も導入し、売店窓口での混雑緩和を実施。
- ✓ まん延防止措置に伴い、この試合では飲酒による感染リスクにつながる行動を回避するために、アルコール販売を中止するとともに、場内へのアルコール類の持ち込みを禁止とする。
- ✓ 公園内およびスタジアム内の喫煙所を10ヶ所設置
（オーロラビジョンでの喫煙場所の告知、係員の巡回による案内の強化）
- ✓ 公共交通機関以外での来場を促進（正面駐車場、北第2駐車場、東駐車場の販売）
- ✓ オーロラビジョン・場内アナウンスでの国の接触確認アプリおよび県のLINE コロナお知らせシステムの活用をお願い。特に入場門、コンコース内での告知を強化。
- ✓ オーロラビジョンで一都三県共同声明を告知。
- ✓ コンコースに扇風機14台を設置し、スタジアム内の換気と暑熱対策を実施。

※その他の対策については浦和レッズ公式HPをご確認ください。

浦和レッズ公式HP：<https://www.urawa-reds.co.jp/>

3. 開催結果

- ✓ この試合は、まん延防止措置期間につき、収容人数5,000人を想定して対応しました。
入場時・退場時において、各ゲート付近では、大きな混雑等感染リスクが高まる状況は見受けられませんでした。
- ✓ 試合前後やハーフタイム時の売店やトイレ付近において、多少の混雑は見受けられましたが、待機列に並ぶ際には社会的距離が確保できていました。

また、試合が行われている間の売店やトイレの混雑はありませんでした。

- ✓ 最寄り駅である浦和美園駅や浦和美園駅に至るまでの歩行者専用道路においても、試合前、試合終了後ともにファン・サポーターの方の滞留等は見られませんでした。
- ✓ 応援ルールにおいて、応援アイテムの太鼓が解禁、手拍子が容認となっていますが、感染リスクにつながるような応援になることはありませんでした。

4. 改善・見直しの内容

- ✓ Jリーグガイドラインに基づいた感染防止対策を施し、感染リスクが高まる状況は見受けられませんでした。
- ✓ 今後、収容人数が拡大した場合は、入場ゲートの拡大、開場時間の変更を含めた時差入場、より細かな時差退場、コンコース内トイレ、売店でのソーシャルディスタンス確保のための係員による案内強化等を検討していきます。
- ✓ 感染リスクを回避するための応援ルールに関しては、引き続き、主催者である浦和レッズの公式HPや当日のアナウンス等で周知徹底をしていきます。

以上